

## 平成24年度第 1 回中原区区民会議

日時 平成24年 7 月20日（金）14：00～

場所 中原区役所 5 階 502・503会議室

1 開催日時 平成24年7月20日（金）午後2時00分～4時10分

2 開催場所 中原区役所5階 502・503会議室

3 出席者

（委員）川連委員長、富岡副委員長、板倉副委員長、青木委員、伊藤委員、稲富委員、梅原委員、岡本委員、尾木委員、反町委員、但野委員、塚本委員、寺岡委員、長瀬委員、中森委員、中山委員、成田委員、橋本委員、橋本委員、藤嶋委員

（参与）大庭参与、押本参与、松川参与、吉岡参与、滝田参与

（事務局）板橋区長、小野副区長、川添課長、岩瀬部長、風間部長、山崎所長、

石津副所長、諏佐室長、木下所長、綱島課長、小金井課長、

企画課：園田係長、倉見係長、橋本職員、深谷職員、野並職員

4 議 題 （1）第4期区民会議の審議テーマについて（公開）

（2）区民会議の広報について（公開）

5 傍聴者 10人

6 会議内容

午後2時 開 会

委嘱状交付

司会 それでは、各委員さん、すべてそろわれましたので、ただいまから第1回中原区区民会議を開催させていただきます。本日の会議の議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます、私は中原区役所副区長の小野と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まず、会議に先立ちまして、第4期中原区区民会議委員の皆様方に中原区長から委嘱状を交付させていただきます。私がお1人ずつお名前を申し上げますので、その場でご起立をいただきまして、委嘱状をお受け取りいただきたいと存じます。

それでは、区長、よろしくお願い致します。

〔区長から各委員へ委嘱状交付〕

司会 以上で委嘱状交付式を終了させていただきます。

1 開会

司会 それでは、改めまして、これより第1回中原区区民会議を開会いたします。

初めに、会議の開催に当たりまして、中原区長の板橋よりごあいさつを申し上げます。

区長 皆様、こんにちは。中原区長の板橋でございます。改めまして、よろしくお願いしたいと思います。既に第1回が始まる前の準備会のときにいろいろごあいさつをさせていただきましたので、区民会議等の趣旨につきましては省かせていただきますが、先ほど市

長名で委嘱状を出させていただきました。これにつきましては、ご承知のように区民会議条例というのがございまして、それによって市長が委嘱するということとなっておりますので、私から市長にかわりましてお渡しをさせていただきました。2年間ではございますけれども、ぜひよろしくをお願いしたいと思っています。

ご承知のように、区民会議ではさまざまな中原区の課題について皆さん方にご討議をいただくという形になっておるわけですが、今年は区制40周年ということで、前期の区民会議では、この区制40周年に当たりましてさまざまなご提案をいただきました。40周年ということで、いろんな事業を行っているわけですが、写真集ができたりとか、いろいろな行事を行いました。お楽しみの10月21日にはのど自慢もあるということで、区民の方々も40周年を迎え非常に盛り上がっているところでございますが、そういった審議も前期ではやっていただきまして、非常に助かったところでございます。

また、役所のことでございますので、もう既に来年度の予算要求も始まっているところでございます。この間、区民会議でご提案いただいたテーマや課題につきましても、誠実に予算要求の上で反映をさせていただくよう編成作業を進めているところでございますけれども、緊急な課題につきましてはぜひ皆様方に早急にご提案をいただきまして、来年度予算あるいは再来年度予算に反映できるものもあると思いますので、必ずしも2年間の任期が終わってからということではなくて、任期の間でも区の課題ということで緊急性がありましたらば、ご提案をいただければ幸いと思っています。

ご承知のように、中原区は非常に安定した地域でございましたが、小杉駅周辺が、全国的にも注目をされるような開発が進んでおりまして、そういう意味では市民生活にさまざまな影響を与えるとは理解しています。ただ、せっかく大きく注目されていることでございますので、これをもちまして中原区の魅力がさらに高まっていくことを我々も心がけてまいりたいと思っていますので、ぜひ区民会議の皆様方にもそういった視点でのご討議等をお願いしたいと思っています。

非常に雑駁になりましたけれども、これからの2年間、皆様方の真摯なご討議をいただきまして、そして、繰り返しますが、さまざまなご提案をいただきまして、それが着実に中原区政の発展につながることをお願いいたしまして、高い席ではございますが、ごあいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

## 2 出席者自己紹介

司会 それでは、出席者の皆様をご紹介します。

初めに、区民会議委員の皆様方に、席次順に従って選出分野や所属団体を含めて自己紹介をお願いしたいと思います。その後、まだお見えになっていらっしゃらない先生方もいらっしゃいますが、引き続き区民会議の参与としてご出席をいただいております市議会、そして県議会の議員の皆様方から自己紹介をお願いしたいと存じます。また、大変恐縮で

はございますが、お時間の都合もありますので、1人当たり大体30秒程度でご紹介をお願いしたいと思います。

それではまず、青木委員よりお願いいたします。

青木委員 皆さん、こんにちは。中原区社会福祉協議会会長の青木でございます。区民会議は3年目でございますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。

板倉委員 板倉でございます。中原区まちづくり推進委員会から参加しております。3期を1度やらせていただきまして、今期4期に入りますが、3期の経験を生かしまして、できる限り皆さんのお役に立てるように頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

伊藤委員 伊藤久と申します。社団法人中原工場協会からやってきました。工場協会といっても、事実上はいろんな業種の異業種交流会みたいなもので、この時期でもまだ会員数がふえているというすごく活発な団体ですので、こういう会合は初めてなんですけれども、これからも頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

稲富委員 中原地区連合というところから来ました稲富と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私たちは中原区の中の企業にいます労働組合の仲間たちということになります。中原に住み、働くという目線で、この2年間、委員として務めていきたいと思えます。区民会議委員としては4年、途中から入ったということもありまして、4年目になりますけれども、ぜひよろしくお願いいたします。

梅原委員 ボーイスカウト&ガールスカウト中原区協議会から参りました梅原英毅と申します。中原区にはボーイスカウト7個団、ガールスカウト2個団あります。全部で300人ぐらいですけれども、正しい子どもたちを育てようということで頑張っております。よろしくお願いします。

岡本委員 皆さん、こんにちは。私は、中原区食生活改善推進員連絡協議会の会長を務めさせていただいております岡本でございます。食を通して地域を元気にしようという会でございます。どうかよろしくお願いいたします。

尾木委員 こんにちは。尾木と申します。私は、自主防災組織の代表として参りました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

川連委員 こんにちは。私は、中原区商店街連合会の副会長をやっております。区民会議は4年を終わりました、5年に入るところでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

反町委員 NPO法人カワサキミュージックキャストの反町充宏と申します。区民会議は2期目ということになります。生まれも育ちもここ中原区で、中原区のために区民会議の委員として全力で取り組んでいきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

但野委員 中原区PTA協議会から参りました但野と申します。中原区PTA協議会は、小中豊学校26校の運営委員さんに毎月来ていただいて、情報交換などをしております。今

年度初めての参加になります。どうぞよろしくお願いいたします。

塚本委員 塚本と申します。私は、武蔵小杉駅前再開発に高層マンションがたくさん建っていますが、そこに4年前に入居した住民です。現在はその地区を中心にNPO法人小杉駅周辺エリアマネジメントという法人を立ち上げているんですが、そこで専務理事をしています。どうぞよろしくお願いいたします。

寺岡委員 こんにちは。寺岡と申します。今期2期目になりますが、1期目を生かして何とか2期目を頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

富岡委員 皆さん、こんにちは。私は、中原区民生委員児童委員協議会というところから出てきております富岡茂太郎でございます。どうぞよろしくお願いいたします。民生委員は赤ちゃんからお年寄りまでという幅の広い活動をしておりまして、制度ボランティアでございます。どうぞよろしくお願いいたします。頑張りたいと思います。

長瀬委員 長瀬と申します。中原区町内会連絡協議会の会長をさせていただいています。今年は、お話しありましたように区制40周年でございます。ここに委員としてご出席の方々には、それぞれのお立場でまたいろいろとご協力、お力添えをお願いすることになると思いますが、よろしくお願いいたします。区民会議につきましては、まだ誕生する前の段階でかかわってございましたけれども、立場が変わりましてからしばらくお休みしていますので、今後とも皆さん方とともに勉強していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

中森委員 皆さん、こんにちは。中森ジュリアみどりと申します。名前のとおり外国籍で、ブラジル出身の日系2世です。私は、川崎にある外国人代表者会議に第2期、第7期と第8期に参加しました。皆さんといろいろ提案したいので、よろしくお願いいたします。

中山委員 名簿の16番、中山博夫です。4人の公募委員の中の1人です。どうぞよろしくお願いいたします。

成田委員 皆さん、こんにちは。中原区子育てネットワークから参りました成田と申します。子育てネットワークは、中原区内にあります自主保育グループですとか子育て支援各団体、行政機関等が集まりまして事業を展開させていただいている委員会です。私は、その中で主任児童委員という立場で委員会には参加させていただいております。今回こちらには初めてということになりますので、よろしくお願いいたします。

橋本委員 こんにちは。今期から初めて参加させていただきました橋本でございます。区内70の町内会婦人部長の集まりの協議会会長をしています。どうぞよろしくお願いいたします。

橋本委員 もう1人の橋本満昭です。市民健康の森を育てる会の顧問となっておりますが、初代の会長だったものですから、会長経験者はやめると顧問の名称がつくということで顧問についておりますが、一般会員と同じように活動しております。今後ともよろしくお願いいたします。

藤嶋委員 皆様、こんにちは。中原区文化協会の藤嶋とみ子でございます。中原区で活動している文化団体、また個人の形で45年の歴史があります。事務局は中原市民館になっております。ことしで5年目を迎えます。よろしくお願いいたします。

司会 ありがとうございます。

それでは引き続き、参与の皆様、お願いいたします。

吉岡参与 こんにちは。参与の吉岡俊祐でございます。きょうは他の参与の皆さん、午前中の委員会が延びているところもございます、出席は私だけになっておりますけれども、ちょっとご勘弁いただきたいと思います。この区民会議で皆さんがご議論される中身は市政にも示唆に富むものが大変多くございますので、これからの皆様のご協議を楽しみにさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

滝田参与 参与を務めさせていただきます県議会議員の滝田孝徳でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

大庭参与 皆さん、どうもご苦労さまでございます。遅れまして申しわけありません。市議会議員の大庭裕子でございます。皆さんの屈託のないご意見、本当にいつも勉強させていただいておりますので、またこれからよろしくお願いいたします。

司会 ありがとうございます。なお、現時点で所用により欠席等のご連絡をいただいております参与の皆さんは、市議会議員の市古参与、川島参与、東参与、そして県議会議員の日浦参与が所用により欠席というご連絡をいただいております。その他の参与の議員につきましては後ほど来られるかと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、私ども事務局職員及び区役所出席者の自己紹介をさせていただきます。

事務局 区民会議の事務局担当をさせていただきます企画課長の川添と申します。よろしくお願いいたします。

事務局 生涯学習支援課、中原市民館の館長でございます岩瀬でございます。よろしくお願いいたします。

事務局 区民サービス部長の風間でございます。よろしくお願いいたします。

事務局 保健福祉センター所長でございます山崎と申します。よろしくお願いいたします。

事務局 同じく副所長の石津と申します。よろしくお願いいたします。

事務局 こども支援室の諏佐と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 道路公園センター所長の木下です。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 総務課長の綱島でございます。よろしくお願いいたします。

司会 そのほか、各委員の皆様方から向かって右奥に着席していただいておりますのが石塚計画デザイン事務所の千葉さんと牟禮さんです。このお2人には今後の中原区区民会議の運営に当たりまして事務局を補助していただくことになっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

では次に、議事に入ります前に、本日お配りをしております資料につきまして事務局か

ら確認をさせていただきます。

事務局 では、事務局から資料の確認をさせていただきます。

まず1枚目、本日の次第でございます。

2枚目、別添1、本日の席次表でございます。

続きまして、別添2、委員及び参与名簿でございます。

続きまして、資料1、専門部会の設置についてでございます。

続きまして、資料2、第4期中原区区民会議スケジュール（案）でございます。

続きまして、資料3、第4期中原区区民会議検討テーマでございます。こちらはホチキスどめをさせていただきます。

続きまして、資料4、第4期中原区区民会議広報案でございます。

続きまして、参考資料でございます。まず、参考資料1といたしまして、中原区市民提案型事業のチラシでございます。こちらは、第3期区民会議の3つ目のテーマでございます「中原区制40周年を迎えて」のテーマで募集いたしました市民提案型事業のチラシでございます。まず、一番上、おと絵がたりさんのつたえて、つくって、つながる なかよし・なかはら公演事業のチラシでございます。続きまして、華やぐシニアファッションショーのチラシでございます。続きまして「なかはらミュージカル」水の郷のものがたりの資料でございます。以上3事業につきましては、第3期区民会議のテーマを受けて実施する中原区役所と市民との協働事業のチラシでございます。

以下の資料は、区役所が取り組んでいる事業等の参考情報の提供でございます。まず、このゆびと〜まれ！は、こども支援室で作成しております【子育て】情報ガイドブックでございます。続きまして、同じくこども支援室で実施いたします中原区子育て応援隊！講座のチラシでございます。続きまして、地域保健福祉課で実施いたします地域福祉計画普及啓発事業の映画上映会「エンディングノート」のチラシでございます。続きまして、企画課で取り組んでございます中原区制40周年記念写真集。現在販売中のものがございますが、こちらのチラシでございます。同じく企画課で実施いたします中原区エコカフェ&ゴーヤー収穫祭のチラシでございます。なお、こちらの事業実施に当たりましては、岡本委員が所属していただいております中原区食生活改善推進員連絡協議会さんのご協力をいただいているものでございます。どうもありがとうございます。

最後に、委員の方のみの配付となりますが、この会議の最後で詳しく説明させていただきますなかはら区民会議だよりの原稿の資料となっております。

資料については以上でございます。

司会 資料の確認をさせていただきましたが、過不足等ないでしょうか、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

司会 それでは続きまして、会議の公開等につきましてご説明をさせていただきたいと思

います。

事務局 それでは、事務局から説明させていただきます。

まず、会議公開について、本市は、行政運営の透明性を確保するため、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づきまして、審議会等を開催する際には公開しております。区民会議につきましては会議録を作成して公開することといたしておりますので、会議終了時まで録音させていただきますことをご了承いただきたいと思います。また、この条例の趣旨に沿って会議を公開して、傍聴を許可しておりますので、あわせてご了解いただきたいと思います。

なお、会議では報道関係の取材につきまして協力しておりますので、これにつきましてもご了解いただきたいと思います。

次に、区役所の記録及び広報用といたしまして、会議の様子を写真などにより記録させていただきます。これらの写真については、市政日より、区のホームページなどで使用させていただくことになりますので、あらかじめご了承の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

最後に、中原区区民会議では、第1期区民会議での審議結果を受けて、会議運営において環境に配慮して、ペットボトルや缶などの飲み物を出すことは廃止しております。委員の皆様方には会議当日に、マイボトル、マイカップのご持参をお願いしておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

説明は以上でございます。

### 3 正副委員長の互選

司会 それでは続きまして、次第に従いまして正副委員長の選任に入らせていただきます。正副委員長の選任に当たりましては、川崎市区民会議条例第5条第1項の規定により、委員による互選となっておりますので、よろしくお願いいたします。

まず、委員長の選任についてお諮りをいたします。皆様、いかがでございますでしょうか。

稲富委員 区民会議委員の稲富ですけれども、今回4年目に入ります。前期も活動させていただきましたけれども、私としては川連委員にぜひなっていただきたいと考えております。推薦をしたいと思います。理由につきましては、前期3期において副委員長を務められておりましたし、その活動、実績が顕著であったことと、加えまして、課題調査部会というものを展開して進めていくわけですけれども、その部会長に就任をされまして、3期で審議した3つのテーマ、課題等について精通をされていると。加えまして、委員に就任して3期目ということで、これまでのキャリアを生かして各委員の中の意見調整を期待できると考えておりまして、ぜひ私としても推薦をしたいということで発言させていただきました。

以上です。よろしくお願いいたします。

司会 ただいま稲富委員から、川連委員を推薦する旨のご発言がございました。ほかにございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

司会 特にご意見がなければ、委員長には川連委員にご就任いただくことをお諮りいたします。よろしければ、皆様方、拍手でご承認をお願いしたいと思います。

〔拍手〕

司会 それでは、川連委員、委員長の就任、よろしくお願い申し上げます。

続きまして、副委員長の選任についてお諮りいたします。副委員長は、2名の方の選出をお願いしたいと存じます。皆様、いかがでございますでしょうか。

反町委員 副委員長ということで、私から富岡委員と板倉委員を推薦させていただきたいと思います。

富岡委員を推薦する理由といたしましては、富岡委員は第3期目の委員就任でございます。ただいま委員長に決定いたしました川連委員長と同じ期間、委員を務めていらっしゃいまして、その経験を生かして委員長をサポートしていただけるものと思っております。また、中原区民生委員児童委員協議会の会長を務めていらっしゃいまして、高齢者から子どもまで幅広い年齢層の区民の方に関して日ごろから課題認識を深めていらっしゃるのと、また、このほかにも行政関係の多くの役職を歴任されていらっしゃいまして、さまざまな分野から選出されている区民会議委員間の意見調整にその能力を発揮していただけるものと考えたことから推薦をさせていただきました。

板倉委員におかれましては、第3期区民会議が1期目の委員就任でございましたが、それまでの市民活動の経験を生かし、運営部会や課題調査部会などの主に部会での活躍が顕著であったこと、現在中原区まちづくり推進委員会委員長としてさまざまな分野からの委員が集まる会議を運営していらっしゃる実績があるということ、中原区の市民活動団体の状況をよくご存じでありまして、区民と行政の協働という目標に向かって、そのパイプ役としてほかの委員を引っ張っていただけるのではと思ったことから、私は富岡委員と板倉委員を副委員長に推薦させていただきます。

司会 ただいま反町委員から、富岡委員と板倉委員を推薦する旨のご発言がございました。ほかにはございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

司会 特にご意見がなければ、副委員長には富岡委員と板倉委員にご就任いただくことをお諮りしたいと思います。よろしければ、皆様方からの拍手でご確認をお願いします。

〔拍手〕

司会 それでは、富岡委員、板倉委員、副委員長の就任につきましてよろしくお願い申し上げます。

それでは、これからの議事につきましては、委員長、副委員長に進めていただくことになりますので、前のお席へ移動をお願いいたします。

〔川連委員長・板倉副委員長・富岡副委員長、正副委員長席に移動〕

司会 それでは、委員長、副委員長にご就任のごあいさつをお願いいたします。初めに、委員長、よろしくお願いいたします。

川連委員長 川連です。皆様からのご推薦をいただきまして、本当に光栄に存じております。委員長という重責を担うことになってしまいましたけれども、私の小さな力では区民会議の大きな船は動きません。これから2年間、皆様全員のお力添えをお願いして、区民会議の運営に当たりたいと思っておりますので、本当に温かい協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが、委員長就任のあいさつにかえさせていただきます。ありがとうございました。（拍手）

司会 続きまして、富岡副委員長、よろしいでしょうか。

富岡副委員長 皆様、こんにちは。ただいまご紹介いただきました富岡でございます。私は中原区民生委員児童委員協議会をずっとやってきまして、大した人間ではないんですが、長いだけ取り柄というような人間でございます。その間、いろいろな人との人脈があるということでご推薦いただいたのかなと思っております。そういうことで、委員長を補佐していきまして、この区民会議が立派に成功するように頑張っていきたいと思っております。どうぞ皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。（拍手）

司会 続きまして、板倉副委員長、よろしくお願いいたします。

板倉副委員長 板倉でございます。突然重責といいますが、私に似合わないようなものが回ってきました。3期で子育ての問題、防災の問題、高齢者の問題の3つの問題をやってまいりました。そのほかにもともとが、環境の問題とか、再開発の問題とか、いろいろ問題があると思うんですが、終わってしまったからでなくて、過去の問題をもう少し深掘りしてやっていきたいなと思っておりますので、どうぞご協力を願いたい。よろしくお願いいたします。（拍手）

司会 ありがとうございます。

それでは、区民会議条例第6条において「委員長はその会議の議長となる」と規定されておりますので、ここからの進行は委員長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

川連委員長 ここからの議事は私が進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

#### 4 会議録確認委員の選任

川連委員長 まず、会議録確認委員の選任をいたしたいと思います。

選任を行う前に、会議録確認委員の役割について事務局から説明をお願いいたします。

事務局 会議録確認委員については、区民会議は広く公開されるべき審議会であり、会議録を作成することは先ほど説明させていただきました。会議録については速記者に作成をお願いしているところですが、委員の皆様におかれましては、作成後の会議録の内容についてご確認をお願いいたします。確認に当たっては、委員の皆様の負担を平等にするために会議ごとに委員長及び副委員長を除いた委員の中から、持ち回りで2名の方をお願いさせていただければと存じますので、ご協力をお願いいたします。

説明は以上でございます。

川連委員長 以上、事務局から説明をいただきましたが、ご質問などありましたら、どうぞ遠慮なくおっしゃってください。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

川連委員長 それでは、会議ごとに2名の委員の方をお願いをすることになっておりますので、名簿の順に私から指名をさせていただきます。今回は青木委員と伊藤委員にお願いしたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

川連委員長 それでは、お2人の委員さん、よろしくお願いします。

## 5 専門部会の設置及び専門部会委員の選任

川連委員長 次に、専門部会の設置及び専門部会委員の選任についてお諮りをいたします。

初めに、事務局から、専門部会の設置と区民会議の進め方について説明をお願いいたします。

事務局 それでは、説明させていただきます。資料については、お手元の資料1と資料2に基づいて説明させていただきます。

専門部会については、区民会議の調査審議をより専門的、また機動的に行う必要がある場合などに設置して、区民会議から付託される事案の調査検討を行うものでございます。

専門部会の設置につきましては、資料1、専門部会の設置についてにございますように、主に区民会議条例施行規則に規定されておりまして、第4条第2項におきまして「専門部会に属すべき委員は、委員長が区民会議に諮って指名する」こと、第3項で「専門部会に部会長を置き、専門部会に属する委員の互選により定める」こと、第4項で「専門部会は、調査検討のため必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる」こと、第5項では「部会長は、専門部会の事務を掌理し、専門部会の調査検討の経過及び結果を区民会議に報告するものとする」と規定されております。今期、第4期の区民会議におきましても、幹事会的な役割を持つ部会である運営部会と選定された課題の調査検討を行う課題調査部会の2つを設置していくことをご提案させていた

できます。

資料2もごらんいただきまして、区民会議の流れがどのように進行していくか、説明させていただきます。第4期区民会議、2年間の期間中、8回の本会議に対して、どのように部会との関係が成り立っているかをあらわしているのがこの図でございます。きょうの第1回の本会議でテーマや運営方法などの検討を行い、最後の第8回の本会議で取りまとめを行います。その間に開催されます本会議2回で1つの課題調査の審議を行って、期間中、合計3つの課題の審議を行います。また、本会議での審議を補完するために専門部会を開催いたします。それぞれの専門部会があります。

改めて、資料1にお戻り願って、運営部会についてですが、運営部会は、区民会議の円滑な運営を図るため、検討テーマや会議の具体的な運営のあり方などについて調整する役割を果たしております。構成員は正副委員長を含め6名程度、必要に応じて適宜開催することになっております。なお、第3期でも設置したものであり、第3期においては2年間で7回開催して協議していただきました。審議内容といたしましては、本会議に先立ち、区民会議で取り組む検討テーマの選定や会議の運営の流れ、報告書の取りまとめ、市民報告会の内容の検討などを行っていただきます。

次に、下のほうにあります課題調査部会ですが、区民会議での議論や意見などを整理して、課題解決に必要な情報の収集や調査を行って、区民会議での議論をより効果的に解決に向けた取り組みに発展させるために補完的な役割を果たすものでございます。構成員につきましては7名程度として、取り扱う課題ごとに柔軟に適した部会員を適宜選出できるものとしております。開催時期につきましては区民会議の開催時期に合わせて適宜開催することを想定していますが、1つのテーマに対して1回から2回程度開催すると考えております。審議内容といたしましては、区民会議で取り組む地域課題について区民会議における委員の意見を整理して、より掘り下げた検証を行って、課題解決に向けた具体的な取り組みの検討を行うことを想定しております。

事務局といたしましては、この2つの部会について第4期でも設置していくことをご提案させていただきたいと考えております。

以上が事務局からの提案でございます。

川連委員長 事務局からの説明は以上のとおりです。質問などございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

川連委員長 何にもないですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

川連委員長 ご異議がないようですので、この2つの部会を設置することといたします。

次に、専門部会の委員でございますが、区民会議条例施行規則第4条第2項におきまして「部会に所属すべき委員は、委員長が区民会議に諮って指名する」と規定されております。したがって、これから正副委員長でしばらく協議のお時間をいただき、正副委員長に

より部会構成案をつくります。正副委員長として皆様にお示ししたいと存じますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

川連委員長 よろしいようですので、次に参ります。なお、先ほどお諮りした専門部会のうち課題調査部会につきましては、今後の区民会議で取り上げる検討テーマが決まっておりますので、第2回の区民会議で改めて課題調査部会の構成員をお諮りしたいと思えます。したがって、本日は運営部会のみを選出とさせていただきます。

それでは、これから正副委員長案を作成したいと思えますので、ここで休憩を挟みたいと思えます。それでは、ただいまより10分間休憩いたします。よろしくお願いいたします。

〔休憩〕

川連委員長 それでは、皆様、おそろいようですので始めさせていただきます。

ただいま運営部会の委員の選出について正副委員長で協議いたしました。決定をいたしましたので発表させていただきます。お名前を読ませていただきます。まず、稲富委員、反町委員、成田委員、藤嶋委員、それに正副委員長が入り、全部で7名になります。以上ですが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

川連委員長 それでは、運営部会についてはそのように決定させていただきます。

## 6 議題

### （1）第4期区民会議の審議テーマについて

川連委員長 それでは、本日の議題であります第4期区民会議の審議テーマについて審議を進めてまいります。その前に1つご提案を申し上げます。区民会議には、中原区が選挙区となる市議会議員、県議会議員の方々に参与として参加していただいておりますが、本日の会議終了前に、各参与に今後の区民会議運営に当たっての助言を求めたいと思っておりますが、皆様、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

川連委員長 ご異議がないようでしたら、本日を含めまして、第4期の区民会議では参与の皆様にも助言を求めてまいります。

では、議題に戻りまして、区民会議で取り上げる検討テーマは、私ども委員の日ごろの取り組みからの把握や区民の皆様の声などから、緊急性、重要性を勘案し、選定することとされております。本日は、委員の皆様1人1人が考えている区民会議で取り上げたい地域の課題などについて、この場で意見交換を行ってまいりたいと存じます。

それでは、議題の審議の前に、事務局からこの議題に関する資料の説明をお願いしたいと思います。

事務局 それでは、区民会議での検討テーマについて資料のご説明をさせていただきます。

まず、区民会議の検討テーマは、区民会議において、委員の皆様がさまざまな地域課題の中から、緊急性や重要性を勘案して決定することとなっております。今回、審議のための補足資料としまして、この会議の事前に委員の皆様にお集まりいただきまして開催した準備会でのご意見等を踏まえまして、資料3、第4期中原区区民会議検討テーマ（委員提案一覧）を作成させていただきました。この資料を参考にしながら、また、委員の皆様の日常の活動や思いなどから、まずは区民会議でどのような地域課題をテーマとして取り上げていくべきかということをご議論いただければと考えております。

資料3、1ページ目をごらんいただければと思います。先日いただきましたご意見等が一覧となってまとまってございます。意見として多かったのは、防災または地域交通の向上など、安全で快適な暮らしを支えるということで、いわゆる安全・安心の部分。その下に参りまして、子育て、教育など、いわゆる子育ての分野。また、共通して、その右上のほうに上がりますが、地域住民組織の活動、まちづくり活動などの市民自治の推進ということで、中原区ではいわゆる新旧と呼ばれておりますが、新旧住民の交流といった意見が数多くございました。そのほかにも比較的多かったものとしたしましては、福祉の推進、健康の推進など幸せな暮らしを支えるということで、高齢者の問題、多世代地域交流の場等がございました。そのほかにも、緑の保全、環境等の問題、魅力発信のお話、また、まちの活力向上ということで商店街等を活用した活性化、そのほかとしたしましては、区民会議についてももっとPRするべきだというようなご意見をいただいたところでございます。

そういったご意見等をまとめたものが下の四角に書いてございますが、いわゆる「新旧住民の交流」というテーマは、人口が増加している中原区において、特に大切なテーマであると。中原区区民会議は、委員が幅広い分野から参加していることが特徴であり、委員の得意なことを生かすこと、分野を超えて連携する取り組みが期待できるのではないかと。また、これまでの区民会議で取り扱ったことがあるテーマであっても、今後も引き続き取り組むべき重要なテーマがある。継続して審議を行うテーマについては、委員のネットワークを生かして担い手となる人や団体を見つけていくなど、課題解決に向けた取り組みを続けるための検討をすることが大切になるのではないかとといったところが、前回いただいたご意見で事務局としてまとめさせていただいたところでございます。

2ページから6ページまでがいただいた意見をそれぞれ書き出させていただいたものでございますので、審議の参考にさせていただければと思います。

また最後、6ページの次に1枚つけさせていただきました。事務局といたしまして、また、検討テーマを審議する視点といたしましては、何をテーマとするか、なぜテーマとしたいかというところはもちろん、どのようなことができるか、まただれが取り組めるのか

というところを審議することが、検討テーマを決める上では重要になるのではないかと考えたところでございますので、このような資料を作成させていただいたところでございます。本日の会議での議論を受けて、委員の皆様のご意見を運営部会で審議していただき、検討テーマを決定した上で、第2回区民会議で課題についての審議を進めていければと考えておりますので、ご審議のほうをよろしくをお願いしたいと思います。

事務局からの説明は以上でございます。

川連委員長 それでは、委員の皆様には事前に区民会議で取り上げるテーマについてご提案をいただいておりますので、それをもとにどの課題を取り上げるべきか、議論したいと思います。時間の許す限り意見交換を行い、区民会議で取り上げる課題テーマについて絞り込みを行いたいと思いますが、意見がある方は挙手をお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

川連委員長 ないようですので、私から時間が来るまで順番にお願いしたいと思います。

青木委員から、何かございましたら。

青木委員 私が出したのは子育て支援、そしてまた、防災についても大変な関心を持っていますので、この2つをぜひ取り上げていただきたいと思います。

子育て支援について、平成23年度の中原区の児童虐待はちょっとふえて、今、大津市の中学生の自殺問題でいじめがいろいろと出ていますけれども、それらを含めて、ひとつゼロ歳から3歳、小学校入学前、小学生、総合的に、心の優しさ、命の大切さ、尊さを教えて、早く防止、なくしたい、減少させたいという思いがございます。どうぞよろしくお願いいたします。

また、防災についても、いつ直下型の大きなものが来るかわかりませんので、人命救助等について対策を構築する必要があると思います。

伊藤委員 私は、どちらかというと、中原警察関係の交通安全に携わってきたことが非常に多いんですけれども、中原区は平たんな地ということで、自転車と高齢者の事故が多い。これを少しでも減らすことができればという思いでおります。

今ちょっといじめの話が出ましたけれども、大津市教育委員会と学校の取り扱い、非常に責任逃れという感じが見られるらしいんですけれども、例えば中原区にはそういうことはないのかどうか、その辺もちょっと検証してみたらと思います。

稲富委員 企業の中で働き、この町で住みという私の立場でいくと、やはり企業と町の中での交流も含めると、大きなのが、災害が起きたときに企業と地域、町がどういうふうに関連がとれるのかとか、そういったことも1つあるのかなと思っておりまして、前回からの継続ということもありますけれども、防災という観点、切り口で議論を進められたらいいなというふうな思いもあります。

一方で、前回、子育てのアンケートをとって、その結果をどう生かしていくかということもありましたので、やはり子育て関係、今の人口が増える中でいくと、やはりお子さん

が増えている実態を考えると、そこでまだまだ区民会議でもできることがあるのではないかと考えておりまして、その方面で検討してはどうかと思っています。

梅原委員 最近のいろんな子どもの状況を見ていますと、いじめの問題にしてもそうなんですけれども、教育というか、よく教えができていないのではないかなと思うんですよ。戦後の教育のおかげで無責任な大人がたくさんふえた。政治家を見てもわかりますように、無責任な人がリーダーになってくるとというのが一番問題なのではないかなと思うんです。それをきっちりと教えなければいけない。戦前は道徳とか、そういうのがあったんですけれども、今はそんなものはなくなってしまって、そういうことをきちんと子どもに教えるのは、せいぜいボーイスカウトか、ガールスカウトしかなくなってしまったんです。そういうことから、きちんと正悪をみんなに教えていくことが大事ではないかなと思って、子育ての部門でこういうきちんとした考え方、健康な子どもを育てる必要があるのではないかなというも考えております。

岡本委員 私が今ちょっと不安に思っていることは、私はマンションに住んでいるんです。そうすると、防災対策はどこからできているんだろうという。町会の防災はあるんですけれども、なかなか徹底されていないし、マンションに住んでいると、なおさら防災ということが見えてこないんですね。だから、いざというときに私たちはどうしたらいいんだろうというような、そこに住民たちは皆不安を抱いているということで、安全・安心ということをもう少し考えていきたいなと思っています。

もう1つ、私たちは食についてのいろんな活動をしております。今、子どもさんがたくさんふえています。食の乱れというのがすごく出ているんですね。そこで、子ども支援の中で食卓とかいろんなもの、食を通して皆さん、コミュニケーションがとれていれば、いじめとか、いろんなものが少しは緩和してくるのではないかな。私たちの活動の中ではそんな結果が出ていますので、健全な子どもを育てていくためにも、そのような食卓からというようなことを皆さんと一緒にしていけばいいのかなと思っています。

尾木委員 私、準備会のときは、地元の観光協会の会長として、文化とかそういうものについてという意見を申し上げたんですが、よく落ちついて考えてみますと、うちの町会にも高層マンションが2棟も建っているわけでございまして、ここにご出席の塚本委員とも二、三日前にお会いして、いろいろ話をしたんですけれども、やっぱり区民会議としましては、間口は非常に広いんですが、小杉のような大規模な再開発によって、従来から住んでいらっしゃる市民、住民の方と新しく来られた住民の方との交流というか、その辺の調整をやらないと、だんだんいびつな町になっていく可能性があるのではないかと非常に危惧しているわけです。

私は自主防災組織連絡協議会からの代表ということで来ておるので、自主防災のことも言わなければいけないんですけれども、そういうことがうまく交流というか、マッチングしてこそ、自主防災も機能してくるんだろうなと思ひまして、その根っこのところの交流

と言うと、何が交流かはわかりませんが、やっぱり安心・安全な町は一丸となって築くものだと思うので、ちょっと大きなテーマになってしまうんだけど、区民会議がそういう位置づけでするのが一番効率がいいのかな、我々がそういうところに意見を言って発信していくことが必要なのかなと。行政の皆さんはそれぞれセクションがあるので、なかなか言いたいことも言えないということなので、我々は言いたいことを言わせていただくためにこの席についているわけなので、ひとつそういう意味での意見をどんどん言わせていただこうかなと思っておるところでございます。

反町委員 私が準備会のときにも申し上げさせていただいたことで以前から考えていたこととしては、ここ中原区においては今も新しいマンションが建ち、新しい住民の方も入れ続けているという状況の中ですので、この中で新旧住民の交流と書いてありますが、そういった場づくりというか、コミュニティですとか交流については1度きりではなくて、継続的にやっていかなければいけないと考えております。実際こちらの資料でも関連性の高いテーマというか、矢印でつないでいただいているんですが、一緒にというか、かなり同じようなイメージで通ずるところがあるのかなというところでは、子育て世代をサポートする交流・イベント等というところ。これは、実際新しく住まわれる方の世代とかを考えていってもつながるのかなと考えております。こういった交流の場は、情報の発信であったり、情報の共有の場としても非常に有効であると思いますので、特に新しく住まわれる方に対しては、今ここに集まられている皆さんのそれぞれの活動も含めて、区民会議のことももちろん含めて、いろんな中原区の魅力とか、すてきな情報をお知らせできる場でもあると思うので、できるだけ有効な、有意義な情報を伝えられる場としても、ぜひ継続的にやっていけたらと思っております。

今申し上げた点以外では、この資料の中にあるところでは、まちの活力向上というところでの個人商店、商店街を元気にといったところも……。私、商店街に関する活動もしておりますので、ぜひこども忘れずにいきたいなと考えております。

但野委員 先日、中原市民館で行われました直下型地震、そのときにできることという講座、イベントに参加したんですけれども、その際に防災のことについていろいろありまして、上丸子地区の民生委員さんの活動であるとか、そのような内容も報告されました。そのように防災に関しては少し、一歩踏み込んだ対策が、実際にどうするかということが必要になってくるのかなと感じています。

また中原区は、先ほどから出ておりますように自転車とは切っても切れない地区といたしますか、最近子どもたちには小学校のほうで講座があるんですけれども、いろいろと交通法規も変わってきたりとかしてきておりますので、若いお母さんやお母さん世代を含めた方たちへのそのような講座みたいなものもあるといいのかなと思っております。

安全・安心ということで、きょう道路公園センターの所長さんがいらしていることでちょっと思いついたんですけれども、小学生まではあれなんです、中学生とかが健全育成

ということでよく言われるんですけれども、子どもたちが健全に遊べる場所がないというか、集まっていると通報されてしまうようなこともありまして、世代的にはちょうど中学生、高校生、何人もで集まって、大勢で遊ぶのも健全育成にとってはとても大切なことかなと思ひまして、そんなことが実現するような中原区であるといいなと少し思ひました。つけ加えさせていただきました。

塚本委員 準備会のときも、安心・安全に関するテーマでの皆さんのお声が一番多かったもので、私もぜひ安心・安全については4期のテーマにさせていただきたいなと思ひています。特に人口が増加している中原区ということですが、その中でもやっぱりマンションを含めた集合住宅に新しく住む人がふえていると思うんです。岡本委員からもお話しありましたが、マンションの防災というのは独特なところも若干ありますけれども、マンションで自主防災を必ずしもつくっていない、町会にも入っていないようなところも多いと思ひます。それは自主的な活動だからいいのではないかというふうにはもう言えない、もう無視できないくらい集合住宅がふえてきていると思うので、私としては、ぜひそういう集合住宅を含めた人たちが地域の防災について関心を持って、町会の方々とか周辺の企業の人とも役割を意識しながら、自分たちで安心・安全に暮らせるにはどうしたらいいかということを考えるようなネットワークづくりを考えていきたいと思ひています。

またもう1つ、新旧住民の交流に関連しますけれども、中原区は伝統とか歴史が非常にある特色ある地域だと思ひますが、それについて、必ずしも新しく住む人は余り意識していないというか、どちらかというところ、便利だから住んでいるというところがあって、そこは大変残念かなと思ひているので、そういう新しい人たちに文化に触れてもらうことで中原区の誇りとかを知ってもらうような機会をつくって、新旧の交流を図っていくようなことができたらいかなと自分では思ひています。

寺岡委員 私は地域の安心・安全という点から、不特定多数の人が出会える場をぜひつくって行って、地域住民の交流ができたらいのではないかなと。その中に商店、企業が一緒に入って活動していただけたら、もっといろんな面で安心・安全に貢献できるのではないかなと思ひていますので、そちらのほうで検討していきたいと思ひていますので、よろしくお願ひします。

長瀬委員 委員としての立場で申し上げたいと思ひます。中原区町内会連絡協議会の立場でここへ出席させていただいておるわけですが、今お話しありました安全・安心のまちづくりというのは大きなテーマとして我々も掲げて推進しているわけです。そういう会議も特別に持っておりますけれども、それはそれとして推進に力を注いでいきたいと思ひていますが、区民会議のテーマとして、一体中原区というのは現状どういう区なのか。場合によってはゴールドラッシュのときのアメリカの人口が移動していくようなところでもあるのかなと。そうすると、そこでできるコミュニティというのはどういうものなのか。今、川崎が語られるときには、小杉の高層マンション、再開発という言葉でイメージ

されているわけです。川崎市内を見ますと、幸区もあれば、高津区もあれば、まだまだあるわけです。さらに、その周辺で中高層といいましょうか、中型マンション、再開発、土地用途転換により企業の社宅がマンション化していくだとか、たくさんあるわけです。そうすると、居住空間がふえますから、そこへゴールドラッシュのごとく人間が集まってくる。さまざまな人間が集まってくる。新しいコンセプトは何なんだろう、中原区は。今までの住民、中原区の方たちというのは、よそから転居してくる人たちに住みやすい町、受け入れられやすい町。商店街にしても、何にしても、すぐにお友達ができる町だったわけです。ところが、最近は個を求めて転居してくる人が多いものですから、地域のコミュニティ形成になってこないのではないかな。何かコンセプトがない限り、求心力が伴わないのではないかな。

それで私がいつも言っているのは、地域デビューしてくださいと。地域デビューというのは、何も大げさなことではないんです。そのマンションの中での自治会活動に参加したり、その自治会が近隣のまた自治会と連携したり、そして既存の町内会と連携して何かをやっていくような形で、持てる力を中原区のために使ってください、出してください、ご協力くださいというようなムードがどうしたらできるのかな。

それで考えたことは、まず、高層マンションと言っているか、集合住宅と言ったらいいか、わかりませんけれども、そういう人たちに対して町内会への不満と期待することと、なぜそこへ顔を出せないのかということ。その3点ぐらいを社会調査をやってみたらどうか。恐らく問題点が出てくるだろうと思うんです。そんなことで、区民会議の中での地域づくりというのは漠然とした問題ではなくて、行動を伴ったような形での調査活動を地道にやるべきではないのかな。それによって多摩川がきれいになったりとか、今、多摩川はタマゾシ川。アマゾン川と多摩川が一緒になってしまっているような環境のように言われていますけれども、そうしたものも防いでいける。いかに自分の生活と密着した町であるかということ、それが安心・安全の町につながっていくような非常に大きなテーマが底に流れているのかなと思っています。そういう点で皆さん方の議論が進んで、地域に波及していけばいいかなと。コミュニティの前にネイバーフッドだと思います、近隣です。コミュニティという前に近隣、向こう三軒両隣、ネイバーフッドというものをどういうふうに形成していくか。何かいい知恵がありましたら、皆さんで考えていただきたいなと思います。

余計なことを申し上げましたけれども、以上、感想です。

中森委員 100カ国以上の外国籍の方が川崎市に住んでいて、中原区は2番目に多いと聞いているので、できるだけいろいろ外国籍の方を含めて、防災や子育て、教育に関して、皆さんといろいろ考えていきたいと思っています。

一番大事なものは、交流、コミュニティですね。外国籍の方も情報がなくて、社会に参加したいといっても、どういうふうに参加したらいいかわからず、いろいろ問題とかも起き

ていると思うんです。それを解決できるように皆さんといろいろ考えていきたいと思っています。岡本さんが言っていた食育、異文化でそういうものを取り入れるのもすごい大事ではないかなと思って、せっかくいろいろな国の方が中原区内に住んでいるんだったら、できるだけそういう交流をして、お互い仲よく、何とか中原区内が住みやすい地域になるようにしていきたい、皆さんといろいろ考えていきたいと思っています。

中山委員 前回の準備会で、A3にいっぱい書いた中原区地域課題対応事業の一覧がありました。それぞれの分野の方が専門性を持って解決されていくと思いますが、なかなか難しい問題もたくさんあるかと思うんです。それで、私がお話をしたいことはただ1点、この5ページにも書いてありますけれども、古道中原街道の復活ということです。お金をかけないで、現在のままでできたら残していただければいいかなと。今までのお話の中では文化ということが余り出ておりませんが、古い方でも中原街道を余りご存じない方、知っていても歩いたことのない方がいらっしゃるんです。川崎市は7区あって、街道が区名になっているのはこの中原だけなんです。だから、できたら、この中原街道を残していただくために何かあるのではないかなということは、これから皆さんとの話し合いの中で出てくるのではないかと思います、それをお願いいたします。

成田委員 前回の準備会のときに、子育て支援の立場というところから、子育て世代のサポートという意味で防災の点、異年齢層とのコミュニケーションというテーマでこちらには提案させていただいたんですが、どちらかというと、今は子育て支援というと、年齢層がゼロ歳から就園までの若年層に偏っていると思うんですが、中原区のこれからを考えたときに、ライフスタイルと重ね合わせますと、今は右肩上がりで転入者も多いですし、また出生率もふえていますけれども、これが10年後、15年後といったときに、果たして右肩上がりが続くのか、多分いつかはある一定のラインのところでとまると思います。その際に、ここで乳幼児さんだった子どもたちが就学し、また青少年になっていくにつれて、やはり問題になってくる課題もまた少しずつ違ってくると思うんです。

今はどちらかというと、家庭の中で、家族間の中で取り上げられていることが、やがて子どもたちが大きくなってくると、今度は家族の中では支え切れずに、その子どもたちが地域の中で考えていかなければならなくなり、それがまた区ですとか、市ですとか、本当にどんどん区域が広がっていくと思います。親世代のほうもライフスタイルの変化とともに、今度はお子さんのことから自分の親御さんの介護という点でも、また高齢者のことを考えていかなければならない時期にもこれからどんどん変化してくる。そこまでを考えたときに、やはり子育て支援を通じて、それぞれの世代が抱えている問題ですとか、実際の生活スタイルで生じる問題について、いろいろな問題を共有しながら、お互いが解決に向けたヒントを提供できるような関係をこれからつくっていければと思います。

橋本（貞）委員 私は所属団体が特別に何をというあれではないので、私個人の考えでこれから主に意見とか何かも言うような立場になると思いますが、私は前回のこれからの検

討テーマというときに、全体的なテーマがどうのこうのということを自分自身余り理解できていませんでした。それで、恥ずかしながら家に帰ってから、1期、2期、3期の報告書を読みまして、これはもっと真剣に考えなければいけないこと。自分で積極的に受けたいと思っていたことではなかったので、これはもっと自分が勉強しなければ皆さんについていけないとすごく反省しました。

そこで考えまして、一番自分で心に強く思っていますのは、昨年の震災の後、機能が麻痺した各自治体がどういうふうに動いたかによって、その町の復興とか、町民、区民、市民の方たちの生活が、新聞やニュースで見る限り、すごく違うなと感じていました。ですので、ぜひ分かれた専門部会になったときには、そういう方面の自分の見た——実は私、主人が福島なんですね。実際に去年は現場に行きまして、義援金とか、そんなのはもう全然違うと思いました。もちろん義援金は必要ですけども、それではないものをすごく感じてきましたので、専門部会に入りましたら、そのような考え方、自治体の機能がいかに大切かということを皆さんに自分の意見としてちょっと申し上げて、検討していただけたらありがたいと思っております。その辺を酌んでいただいて、専門部会のときにはよろしくお願いいたします。

橋本（満）委員 私の関係というか、緑地の保全と防災について書かせていただいたんですが、特に防災の問題では備蓄物品の問題等がなかなか行き渡っていない。というのは、備えるにしてもどういったところで買ったらいいとか、そういうところがよくわからない。消火器などはどこに売っているかわからないようなことがあります。やはりこういった点については商店街の活性化にもつながると思いますので、商店街などともよく連携をとった形でPRしていくといいのかなと思っております。

事務局にはならないと思うんですが、やはりこれだけ防災の問題を区民会議で取り上げるとなると、オブザーバーというような形で消防署の職員にも会議のときに1人出ただいて、我々が言っていることを聞いていただき、また、我々にアドバイスをしていただくようなシステムをつくってもらえると、我々にとってもいいし、消防のためにもなると思いますので、その辺については事務局でちょっとご検討願いたいと思います。

藤嶋委員 私、ちょっとお尋ねしたいんですが、区役所のほうでも、参与の先生方も、まちづくりでいろいろなことをやっていると思いますが、あれだけ中原、小杉にビルができてよろしいもののでしょうか。それを伺いたいんですね。そして市民館、今のところはどういうふうに行けますが、そのうち中原市民館も谷間に入ってしまったって、どこが市民館かわからなくなってしまうんです。私たちは今、責任があると思うんです。皆さん、区役所の方たちも小杉は今のままでいいんですか。そしてまた、問題になっていますこちらのほうのビル、マンションが建つということも。住民は一生懸命問題にしているけど、何にも成果が出ないで、建設業者はどんどん建ててしまうんです。道路は狭いし、日本じゅう探したって、あれだけの狭いところに、自転車から、自動車から、全部行くなんていうことはあ

り得ないんです。そしてまた、ごみ問題にしてもすごくなると思うんですよ。それを今、生きている私たちが見捨てていいのか、区民会議がこれを見捨てていいものか、もっと聞きたいと思うんです。

きょうは中原小学校の方に伺って、区民会議がどういうものか、区の議会なんですかと聞かれて、そうなんですよと言ったんですが、私たち区民会議委員は1人1人もっと責任を負わないといけないのが現状ではないですか。これから10年、20年後、爆発してしまうと思うんです。議会の先生たちは、それでいいんでしょうか。今、中原区がこんなに建っていて。市民館はどこへ行ってしまったの、市民館よりもっと大きなビルがどんどん建つんですよ。

それはちょっとここまでにしておきまして、文化協会としては、中原市民館と連携しまして、新しく来た方たちに文化の面でいろいろと伝統文化を広めて、一緒にやっ払いこうというコミュニティを中原市民館とやっております。それとまた、伝統文化も伝承、今の楽しい文化も伝承するというのを15年前からやっております。

富岡副委員長 私は、防災と子育て支援が2つの重要なテーマかなと思っております。

防災に関しましては、3・11後、いろいろなところで会議を持たれたり、勉強会等々を行っております。そして私ども町会も、自主防災組織と町会、民生委員児童委員協議会と連携をいたしまして、いざ、災害が起きたときにどのような対処をしようかということで、訓練等々を行ったりしております。そして、民生委員としましては、要援護者の把握ということで名簿をつくったり、マップをつくったりして、いざ、そのときに活用できるような準備体制をしております。そういうことで、福島、宮城、あちらの震災の起きた箇所で民生委員自身も一たんは逃げたんですが、自分が担当している要援護者のところに戻って、安否確認に行ったところ、津波に流されて亡くなってしまったということでございます。さて、それがいいのかどうかという議論もございます。災害時、1人も見逃さない運動ではなくて、災害後、1人も見逃さない運動にしましょうよということで、まず民生委員は、その時点では自分が逃げることを最優先にして、その後の活動をしっかりとやろうというような考えができてきております。そういった防災。

子育て支援も、社協とか、民生委員児童委員協議会で子育てサロンをやっております。その他、子育て支援、サロンだけではなく、いろいろな活動もやっております。その中で学校との連携、交流というのがありますが、今いじめの問題が大分騒がれておりますが、民生委員と学校の交流が叫ばれておるということは、やはり交流ができていないということなんです。もっと進めていかなければいけないんですが、なかなか壁が厚いというか、そういった点がありまして、なかなか腹を割っての話し合いはできておりません。そういった点も課題かなと思っております。

また、非行防止、最近は薬物乱用防止教室をやっておりますけれども、薬物乱用が大分広まってきておりまして、これも社会問題として大変重要なことでございますので、何と

か防止していかなければいけないのかななんて思っているいろいろな考えますと、課題がいっぱいあるんです。それを1つずつクリアしていかなければいけないのかなと思っております。頑張っていくしかないのかなと思っておりますが、よろしくお願いします。

板倉副委員長 先ほども申し上げましたように、防災の問題、高齢者の問題、子育ての問題と、去年2年間かけていろいろやってまいりました。今の皆さんと同じような意見が前回も大分ございました。しかし、オールラウンドですべてを解決していくというのは非常に難しいので、できるだけ具体的なテーマに絞ってやっていくという考え方が一番いいのではないかと考えています。

子育てについてはアンケートをとっております、皆さんから非常にいいご意見もたくさんもらっていますので、そういう中から問題点を掘り出すこともこれからは必要だろうと。

もう1つは、高層マンションの中のアンケートもやっていますよね。

事務局 一部ですが、やっております。すべてではありませんが。

板倉副委員長 すべてではないようですが、一部やっておりますので、その中からもいろいろ問題が出ていますので、それなりにそういうところから問題を抽出しながら進めていくのがいいのかなと思っております。よろしくお願いいたします。

川連委員長 私は、もう前々から思っていることで、やはりきょうも一番ご意見が多いんですけれども、子育ての問題と高齢者の問題ですね。この辺を私は考えたいなと思っているところでございます。

皆さんの活発なご意見をいただきまして、どうもありがとうございました。皆さんの意見を聞いていますと、やはり子育て、防災、新旧住民のコミュニケーションとか、そういうことが皆さんの感じられている大きな問題ではないかと思いました。本日の会議で出ました皆様のご意見や希望を踏まえて、区民会議で取り上げるテーマを先ほど設置しました運営部会でこれから決定していきたいと思えます。

## （２）区民会議の広報について

川連委員長 続きまして、区民会議の広報について審議をしたいと思います。

まず、事務局から資料の説明をお願いいたします。

事務局 それでは、事務局から説明させていただきます。

お手元の資料4をごらんになってください。第4期中原区区民会議広報案ということで、これは区民会議の認知度が市民アンケートなどでまだやや低い、20%程度ということで、何とか広報に力を入れていきたいということで、基本的には第3期と同じ形で進めたいという案でございます。

まず、大きく分けまして、区民会議だより、次に区民会議報告書、次に中原区ホームページ、次に4つ目といたしましてその他と書いてありますが、市政だよりを中心にした広

報になります。

まず、1 番目の区民会議だよりなんですが、区民会議での審議内容、今後の取り組みなどをきめ細かく発信していくものでございまして、右側にあるとおり、チラシというか、そういう薄いものでございます。発行回数については年 3 回、区民会議の本会議ごとに作成してまいります。発行部数については各回 8000 部、配布先は各町内会・自治会（回覧用）と区内の主な公共施設に置いて配布するというものでございます。

2 番目の区民会議報告書は分厚い冊子になっておりまして、ちょっとした本というか、何ページかにわたったものでございまして、区民会議の期間は 2 年間あることから、1 年目の最初に出すのが中間報告書、2 年たって最終的に出すのが最終報告書というか、報告書なんですが、区民会議の取り組みの成果をまとめるものでございます。年 1 回ということで、報告書については詳細版というか、細かくやったやつと概要版がございまして、詳細版については 500 部、概要版につきましては 1 万部製作いたします。配布先につきましては、詳細版は市内図書館、行政関係の施設などに置かせていただきます。概要版につきましては、先ほどの区民会議だよりと一緒に各町内会・自治会（回覧用）と区内の主な公共施設などに置かせていただきます。

3 番目の中原区ホームページにつきましては、中原区のホームページの中で開催告知、議事内容。先ほど会議公開条例ということで、こういう形でも公開いたします。更新につきましては、会議があった都度、随時更新してまいります。

最後の 4 番目、その他ということで市政だよりが主なんですが、中原区版の紙面を活用いたしまして、会議の開催案内、それと特集記事ということで、大分紙面を割いて随時掲載してまいります。

ここには書いてございませんが、その他、区民会議の中で提案なりアイデアがあって、こんなことをすると広報につながるのではないかというのもぜひ実現してまいりたいと思いますので、審議の中でアイデア、ご提案があれば受けていきたいと思います。

事務局からの広報案の説明については以上でございます。

川連委員長 まだまだ区民会議は皆様に知られていないというか、事務局の情報発信はもちろん、我々区民会議委員 1 人 1 人が区民会議をアピールしていただいて、少しでも多くの区民の方に知ってもらえるように努めていかなければならないと思っております。区民会議の広報について何かご意見はありますか。——といっても難しいですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

川連委員長 なければ、事務局の提案のとおり、広報をこれからも進めてもらうことにいたします。

## 7 その他

川連委員長 以上で本日予定しておりました議事はすべて終了いたしました。ほかに皆様

から何かございましたら、時間も迫っておりますけれども、発言をお願いしたいと思います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

川連委員長 それではここで、区民会議参与の皆様一言ずつお言葉をいただきたいと思います。本日の議題を聞いていただいて、お気づきの点などがございましたら、申しわけありませんけれども、時間が大分超過しますので、なるべく簡単にお1人ずつお願いしたいと思います。

大庭参与 皆さん、きょうは1日貴重なご意見をありがとうございました。検討テーマについては皆さんがこの間出して、きょうもいろいろ出してくださいましたが、防災の問題ですとか子育て、まちづくり、本当に合点がいくというか、私たちもそういった問題意識で議会の中でも取り組んできたという経過もあります。防災についてはここにいらっしゃる議員の皆さん方、議会の中で何かしら取り上げていると。きょう出されている備蓄の問題ですとか、避難所運営会議の問題ですとか、帰宅困難者の問題ですとか、本当に緊急に取り組まなければいけない問題はたくさんあるかと思います。そうした中で具体的にこの場で出されたことを生かしていきたいと思います。

まちづくりの問題では、藤嶋委員からも言われていたように本当に多くのご意見が私どものところにも来ます。このままどんどんビルが建っていくということについて検証するということも必要になっているのではないかなというようにも言われておりますので、皆さんからこれからもさまざまご意見を伺っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

押本参与 きょうは1日お疲れさまでございます。まずは、川連新委員長のもと、第4期区民会議がスタートしましたことをお喜び申し上げます。また、新たな委員の皆様に関しましては、区のさまざまな問題に対して新たな議論が進んでいくことを楽しみにしております。

さて、いろいろな問題が出ました。今、大庭先生も申し上げましたが、我々議会が取り組んでいることも多くございます。その中で地域を代表する皆様のご意見もいただきながら、相互に取り組みを進めていければいいかなと思っております。また、先ほど藤嶋委員からも出ました高層マンションの件に関しましても、きょうのまちづくり委員会の中で趣旨採択ということで、我々も請願文書なんかも調整しながら、実際には我々もかかわっている部分が多くございますので、ぜひともご意見をいただきながら、一生懸命進めていければと思います。

また、先ほど広報案の中ではご意見なかったですけれども、区民会議は傍聴者の方がかなり少ないというのが課題の1つでもあると思いますので、皆さんのお力をいただきながら、ぜひこの傍聴席が埋まるような活発な議論ができる区民会議になっていただくことをご期待いたしまして、一言ごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

松川参与 長時間にわたりまして貴重なご意見を賜りまして、本当に勉強させていただきました。私も区民会議をいろいろ勉強させていただいております、やはり市民参加型の地方自治という中でこの区民会議はとても重要であると考えているところであります。ほかの6区の区民会議もいろいろ研究はしておりますけれども、中原区区民会議の洗練された部分はピカーだと思います。ですから、皆さんのご意見、また区民会議の意見が川崎の市政、また、中原区の区政にしっかりと反映できるように努力をしていかななくてはならないと考えております。

また、安心・安全なまちづくりということで、防災の話でありますけれども、中原区というのは防災に関してもとても先進的に行っていることがございます。きょうはPTA副会長もいらっしゃっておりますけれども、消防局と教育委員会が中心になりまして、災害図上訓練(DIG)を全中学校でやっているのは中原区だけであります。中原区から発信をしまして、今、川崎区、幸区へと広がってまいっておりますし、また、中原区発祥という大変に期待もされているところでございます。ですから、そういうふうな先進的な事例というものもしっかりと発信をしていかななくてはいけないのかなと思います。

また、先ほど川連委員長からもお話しありましたが、区民会議の認知度が低いというのが今、大変に問題になっているところであります。せっかく皆さんに出していただいているいいご意見がなかなか区民の方、市民の方に通じていないというのが実情でございますので、ぜひともそのようなことも今期、4期目となりましたので、皆さんにもご尽力いただければなと思っております。議会の中ではしっかりと活動してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

吉岡参与 最後になりましたが、参与の吉岡でございます。先ほど松川参与からもありましたけれども、中原区区民会議は発足当時から大変活発な意見と取り組みで、川崎市をリードしてきたと大変誇りに思っております。一方で、区民会議をまねした自治制度を他都市でも検討しているのかなと思っております。例えば名古屋市だとか、あるんですが、やはり住民の皆さんの活発な意見交換によって地域課題を解決する、それを区政や市政につなげていくという1つの手法、大変重要ではないかと思っております。

ちなみに、3月に出ました川崎市の統計資料があつて、私、ちょっと愕然としたんですが、中原区は人口も世帯もふえているんですけども、実は世帯人口という数字があります。人口を世帯数で割った単純な数字なんですけど、去年は2.04人で、川崎市で一番少ない世帯人口でした。ことしは2.00人なんです。0.04人減った、いかに単身世帯が多いか、高齢者の方もひっくるめてですけども、そういうことを考えさせられました。地域、町丁別でざくっと見てみると、1.5人の町会もあるし、2.5人近い町会もあるんですけども、いずれも3人という数字にはならない。これは見かけはふえているんですけども、現実には、全体の比率としては、お子さんの人数は減っているのではないかと思います。

先ほどご意見の中でマンションの自主防災のお話が出ました。自主活動でいいのか、も

う言っていられないのではないかというご意見がありました。私もそう思います。こういった課題は、やはりこれから法的な裏づけや条例的な裏づけ、皆さんがきちんとお話をしていくためにはそういった裏づけを持たないと、ある程度誘導策が必要だと思いますので、そういったこともこれから議会では考えていかなければならないのかなという思いをさせていただきました。

ということを取りとめなく言っておりますけれども、本当に中原区区民会議の皆さん方のご意見には私も参与も大変期待をしておりますので、今後もどうぞ活発なご意見の交換をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

川連委員長 参与の皆さん、本当にありがとうございました。皆さんの意見をこれからの運営に役立てていきたいと思っております。

では、事務局で何かございましたら。

事務局 事務局から事務連絡が3点ほどあります。

まず、第1点なんですが、次回の第2回区民会議の日程です。今、予定しておりますのは、候補として、10月18日（木）と19日（金）、24日（水）、25日（木）の4日間のいずれの日も午後で開催を考えております。ご都合が悪い方がいらっしゃいましたら、この会議終了後、事務局までお申し出ください。

2点目です。区民会議の広報の関係で何点かお願いがございます。

まず最初に、先ほどご承認いただきましたとおり、本日の区民会議の内容をまとめたなかには区民会議だよりを作成したいと思います。今回は第4期の第1号ということで、委員の皆様を紹介する紙面とさせていただきたいと思います。つきましては、本日別紙で、お手元にあるかと思いますが、なかはら区民会議だよりの委員紹介についてという紙が資料とは別にあると思います。こちらに一言ずつコメントを寄せていただくようお願いいたします。

なお、紙面作成の都合上、今月31日までにご提出いただくようお願いいたします。今月いっぱいということでございます。

次に、区民会議だよりに掲載する委員の皆様の写真を撮影したいと思います。この会議終了後、まず、この会場で集合写真を撮りたいと思います。後ろのというか、右手の「中原区区民会議」という看板があるところ、今、委員長、副委員長が座っている席のあたりで、まず集合写真を撮りたいと思いますので、準備をお願いいたします。その後、505会議室といいまして、廊下を挟んで反対側ですが、お1人ずつの写真を撮影いたしますので、集合写真が終わったら505会議室に移動をお願いいたします。

最後、3点目です。先ほど運営部会委員に選ばれた委員の方、7名ですが、運営部会の日程調整。先ほどの本会議とは別で、運営部会の日程調整をさせていただきますので、505会議室に移って、1人1人の写真を撮った後に、そのまま505会議室にお残りください。

以上３点が事務局からの事務連絡でございます。

## ８ 閉会

川連委員長 皆様にご協力をいただき、円滑な議事を進めることができましたことに、正副委員長ともども深く感謝を申し上げます。

これで、第１回の中原区区民会議を閉会いたします。どうもありがとうございました。

午後４時10分 閉 会